

## 第 11 回目の GIS News! です

梅雨空に紫陽花が映える季節となりました。傘を片手に、足早に歩く機会も増えるかと思いますが、時には足を止めて、季節を感じるのも良いかもしれません。

さて、今回は『オルソフォト』について話題提供させていただきたいと思います。最後までどうぞお付き合いください。

## オルソフォトって何？

オルソフォトとは、地図として利用できるように補正を行った航空・衛星写真のことです。

写真を撮影した際に、中心から外側に向かって発生する歪みなどを補正したものであり、正射写真図・正射投影写真図とも呼ばれております。

## 航空写真からデジタルオルソへ

前述したとおり、未補正の航空写真には歪みがあるため長さや面積などが不正確であり、都市計画地図や 1/7 条地図などにかぶせた場合、部分的にしか合いません。

これらの補正をコンピューターで行い、データとして販売しているものがあります。これらを一般にデジタルオルソと呼んでいます。

デジタルオルソの場合、作業工程の中で、空中三角測量に基づく公共測量成果を使用しますので、公共座標、縮尺、高さといった情報（データ）を持たせることもできる、という大きな利点があります。

## GIS における利活用

オルソフォトは GIS の背景、基図として用いることができます。また、写真ですから詳細な情報を視覚的に把握することもできます。

例えば、四角形の土地がズラッと並んでいる地図の背景図として利用すれば、その土地が住宅地なのか、畑なのか、休耕田なのか、駐車場のなのか、写真から判断することが可能になります。

これら以外にも、オルソフォトは様々な利用方法があります。必要に応じて整備を検討されては如何でしょうか。

## 次回の GIS News!

今回は 6 月 25 日発行予定です。よろしくおつき合い下さい!

Geographic Information System